

## 西の湖周辺におけるホンモロコ遊漁の採捕尾数の推定

亀甲 武志・岡本 晴夫・氏家 宗二

### 1. 目的

西の湖においては平成 23 年から電気ショッカーボートによる外来魚の集中駆除と水田を活用したホンモロコ・ニゴロブナの種苗生産放流事業が展開されている。その事業の成果もあり、ホンモロコの産卵が回復してきた。それいに伴い平成 25 年から西の湖周辺でもホンモロコの遊漁が急速に盛んになってきた。そこで、西の湖周辺での今後のホンモロコ遊漁の管理策を検討する基礎資料を得ることを目的に西の湖周辺での遊漁の実態と採捕尾数の推定を試みた。

### 2. 方法

西の湖周辺で釣りによるホンモロコ採捕尾数の推定は調査日を 1 次抽出単位、釣獲状況の聞き取り調査を行った遊漁者を 2 次抽出単位とした 2 段抽出によった。釣獲率や遊漁者数は時期ごとに変化したので、月ごとに分けて推定した。遊漁者数の把握は、遊漁者の多くが釣りをする午前 10 時から午後 2 時に目視により計数した。聞き取り調査は聞き取りを行った段階での釣獲時間釣獲尾数を聞き取った。投網、たもすくいによる遊漁者数についても同様に計数してから、聞き取りや採捕状況から単位時間あたり採捕尾数を推定した。

### 3. 結果

平成 25 年 3 月中旬から 5 月中旬の合計 64 日間中、20 日間遊漁者数の計数と聞き取り調査を行った。釣りは西の湖流出河川である長命寺川沿いで、投網とたもすくいは西の湖流入河川である山本川と蛇砂川で行われていた(図 1)。聞き取りの結果から一日あたり平均 8 時間釣りをすると推定された。投網、たもすくいでは午後から行う人が多く、一日あたり平均 4 時間行うと推定された。調査期間中

の総遊漁者数は 30 人から 180 人で推移し、5 月の連休以降は減少した(図 2)。たもすくいと投網では 4 月中旬以降から増加した。各遊漁による採捕尾数の合計は約 52 万尾と推定され、1 尾あたり 10g(西の湖周辺での採捕魚の平均重量)とすると約 5.2 トン採捕されていると推定された(表 1)。

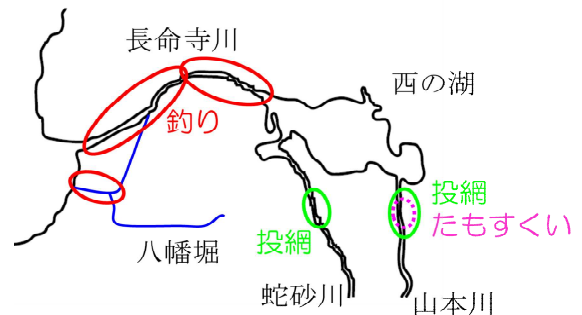


図 1 西の湖周辺での遊漁による採捕場所

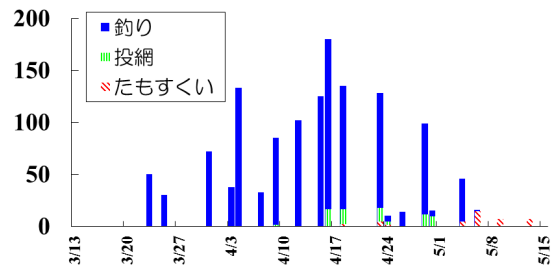


図 2 調査期間中の遊漁者数の推移

表 1 遊漁によるホンモロコ採捕尾数の推定値(尾)

釣り	143,364
投網	345,917
たもすくい	32,988
合計	522,269